

参加無料

『将来の夢のために』

“第30回 不妊相談会”

2023年
3月12日(日) 開催
13:30~15:30

先着申し込み **50**名
*参加希望の方は下記まで
ご連絡ください。
個別でのご相談は申し込み先着
5組まで順にお受けします。

相談会に参加され、当院を受診されたご夫婦の
1.8組に1組の方が妊娠されています。

近年、寿命は80歳を超え、女性の社会的活躍も増加し、40歳となり生活も安定したからそろそろ子供をと考える方がめずらしくありません。しかし女性の妊娠能力は、20代がピークで徐々に低下し、37歳から10倍の速さで激減し、平均44歳で妊娠率ゼロとなります。その原因は女性の保有する卵子そのものの老化で、現在の医学では治すことができません。この重要な事実がほとんど知られていないため、多くの女性が子供を望んだとき、すでに治療し難い不妊となっています。

現在、6組に1組の夫婦が不妊で悩んでいます。不妊が増加したもう一つの原因は、不健康な生活習慣です。過労・ストレス、歩かない生活、遅寝や睡眠不足、肥満ややせ、飲酒、喫煙、不良な食事。こうした不健康な生活習慣はインスリン抵抗性症候群メタボリック症候群を起し、卵子や精子が悪くなり、不妊となるのです。さらに不妊は初発症状にすぎず、そのままにすれば糖尿病・高血圧など多くの病気に発展します。健康で幸せなカップルに子供ができるという自然の摂理を忘れていきます。

私は不妊治療が大好きで、39年間、高度生殖補助医療の臨床と研究に没頭してきました。たった1回の体外受精が10年以上の不妊の苦しみを解消してしまうのには、今も深く感動を覚えます。「好きこそものの上手なれ」で、今では不妊のことがとてもよく分かります。この相談会では、まだ子供を希望していない方には、不妊の予防について、また現在不妊でお悩みの方には、なぜ不妊となるのか、自分たちですべきことは何か、高度不妊治療とはどんなものかを解説します。私の知識と経験と情熱が少しでも皆様の幸せにつながれば幸いです。

お問い合わせ 月～金（水は午前中のみ）
9:00AM～1:00PM
3:00PM～5:00PM

電話/042-480-3105

場所 調布市文化会館 **たづくり**
10階 1001学習室



ウィメンズクリニック神野
<https://xs.132599.xsrv.jp/>
院長 神野 正雄



略歴

- 1980年 慶應義塾大学医学部卒業
- 1983年 同大学院入学、体外受精を開始
- 1985年 日本最初の体外受精による双胎妊娠に成功
- 1986年～88年 米国 Eastern Virginia Medical School に留学
- 1990年 Charles Thibault Honorary Lectureship を受賞
- 1991年～04年 杏林大学医学部産婦人科で講師そして准教授
- 1998年 世界体外受精会議記念賞を受賞
- 2002年 ウィメンズクリニック神野院長 (国領駅前開業)
- 2011年 9月 世界体外受精会議記念賞 2度目の受賞
- 2018年 1月 ウィメンズクリニック神野生殖医療センター開設
- 2022年 7月 世界体外受精会議記念賞 3度目の受賞

専門医・資格

- 医学博士 (慶應義塾大学、甲)
- 日本産科婦人科学会および日本専門医機構 産婦人科専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医および指導医
- 日本受精着床学会 評議員
- 日本抗加齢医学会 評議員

東京都特定不妊治療費助成事業 指定医療機関
不妊に悩む方への特定治療支援事業 指定医療機関